

## 7 小学生の塾や習い事 後編

### —受験予定者は「多様で活発」から「学習中心」に

Benesse 教育研究開発センター 研究員 鈴木尚子



#### 年々増える中学受験者

中学受験をする首都圏の子どもの数と比率は、ここ数年おおむね増加または横ばいの傾向にあります(朝日新聞2010年1月29日付)。全国的には、私立中学校に通う生徒の比率は増加の傾向にあるようです(ベネッセ教育研究開発センター『中学校選択に関する調査報告書』2008)。また、公立でも中高一貫教育校の設置がすすみ、中学進学の実績は以前に比べ広がっています。このような環境にあり、子どもの中学進学についてあらためて考えているご家庭も多いのではないのでしょうか。

#### 中学受験の予定と決断

ベネッセ教育研究開発センターが2007年に小6生とその保護者を対象に行った調査によれば、受験予定の子どもが中学受験を決めた時期は小6生になってからが一番多く(37.4%)、次に小5生(27.3%)、小4生(16.2%)のようです。小1~小2生、小3生で決めた比率は合わせて約1割と少ないことがわかりました。ただし、第一志望校が私立中学校か公立中高一貫校かにより決めた時期は異なり、私立中学校の場合、24.4%が小4生で決めています(図7-1)。

今回の調査では、全国の小学生の母親に「お子様は、中学受験をする予定ですか」とたずねています(図7-2)。小学校低学年でも1割弱、中学年では1割強、高学年では2割弱の方が、「する予定」と回答しています。1年生の時期に「する予定」と考えても、学年があがるうちに気持ちが変わる家庭もあるでしょう。ここでは調査を行った時点で「する予定」と考えていた小学生(受験予定者)と、「しない予定」と考えていた小学生(非受験予定者)に注目して、学校外での活動の違いをみてみましょう。

#### 受験予定者—低学年は多様で活発、高学年は学習中心にシフト—

それでは、受験を「する」と決めた子どもと、「しない」と決めた子どもでは、学校外での活動にどのような違いがみられるのでしょうか。「受験する予定」の小学生(受験予定者)と、「受験しない予定」の小学生(非受験予定者)に分けて学校外教育活動のようすをみてみました(図7-3、図7-4)。

受験予定者と非受験予定者では、活動の傾向が大きく異なります。その特徴を大きくまとめると、受験予定者は低学年では多様な活動を行っているのに対し、高学年ではスポーツ・芸術活動が減少し学習中心にシフトしています。一方、非受験予定者のあいだでは、スポーツと家庭学習が6

年間通して人気があり、教室活動も学年とともに増加する傾向がみられました。

受験予定者と非受験予定者を比べるかたちでみてみましょう。受験予定者は非受験予定者に比べ、とくに低学年ではスポーツ・芸術活動が非常に活発です。さらに、受験予定者はスポーツも芸術も学年とともに減少傾向にあるのに対し、非受験予定者は学年とともに、どちらかといえば増加傾向にあります。

学習はどうでしょうか。家庭学習活動（そろばん、習字などを含む）をみますと、受験予定者は小1生72.9%→小2生78.9%→小3生86.4%→小4生83.2%→小5生80.9%→小6生82.2%です。低学年から広く家庭学習を行っているようすが、中学年以降、さらに増加します。一方、非受験予定者は小1生66.1%→小2生61.1%→小3生62.4%→小4生63.6%→小5生66.1%→小6生65.8%です。小学校を通して大きな変化はありません。

低学年でも差が大きいうえに、高学年でその差がさらに開いていくのは教室学習活動（家庭教師、通信教育、市販の参考書・問題集などを含む）です。受験をしない予定の子どもも、学年とともに教室学習に通うようになります（小1生29.7%→小6生54.6%）。しかし、受験予定層は小1生でも半数を超えているうえ、小6生では9割近くが塾などの教室通いをしています（小1生56.5%→小6生88.2%）。ちなみに受験予定者は小4生の段階でも約86%が何らかの教室に通っています。

このように、受験予定者の学校外の活動と非受験予定者の学校外の活動は、大きく異なることがわかりました。受験をする子どもの活動は、学習活動のみではなく、スポーツや芸術などの活動までも、受験準備の影響を受けています。

## 受験に影響される子どもの活動

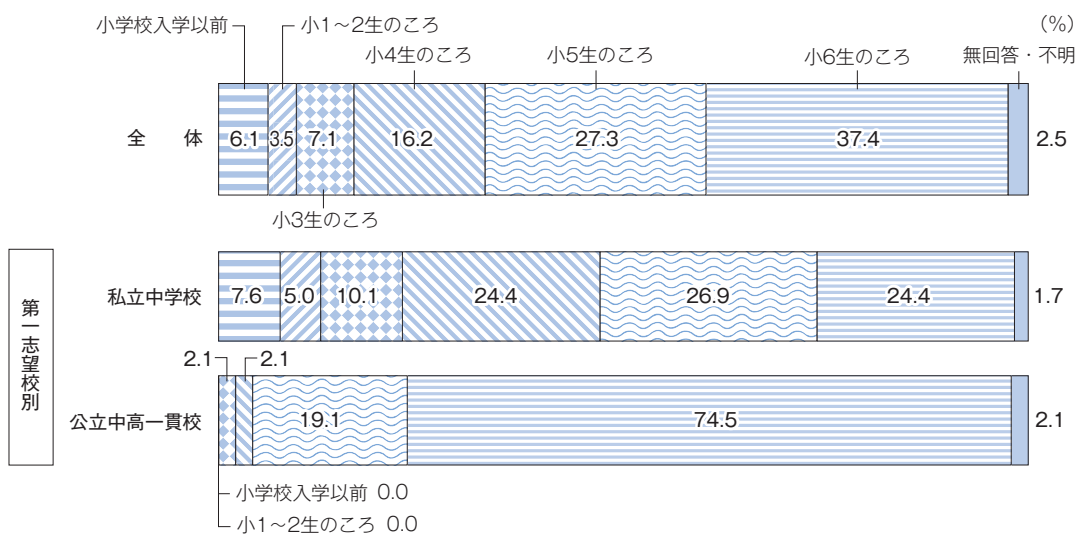
家庭学習活動、教室学習活動、スポーツ活動、芸術活動の有無により、16パターンに分類して、受験予定者の学年ごとの活動のようすをみました（表7-1）。小1生、小2生では「すべての活動」を行っている子どもが約25%です。「受験する」と決めても、さまざまな素養はぐくむために、小さなうちは幅広い活動をするようです。小3～小5生では「家庭+教室+スポーツ」が約26～33%。さらに、小6生になると「家庭+教室」が約25%、「家庭+教室+スポーツ」が約24%となります。もちろん、小6生になっても、スポーツ活動や芸術活動を続ける子どもも多くいますが、受験準備に集中するためか、「家庭+教室」の学習活動に絞る子どもも多いことがわかりました。

各活動にかかる費用も算出しています（図7-5）。こちらをみると、活動パターンにもよりますが、一番多い「家庭+教室+スポーツ」型（全体の25.1%）では月々の学校外教育費は46,200円。つづいて多い「全活動あり」（同20.9%）では同53,000円、「家庭+教室」型は同49,000円です。

表7-1からは、高学年で学習に専念するために、小さなころから習っていたスポーツや芸術活動を制限する、そんな中学受験家庭の姿も浮かんできます。

## (1) 中学受験を決める時期

図7-1 受験を決めた時期（全体・小学生）



注 受験させる保護者のみ。

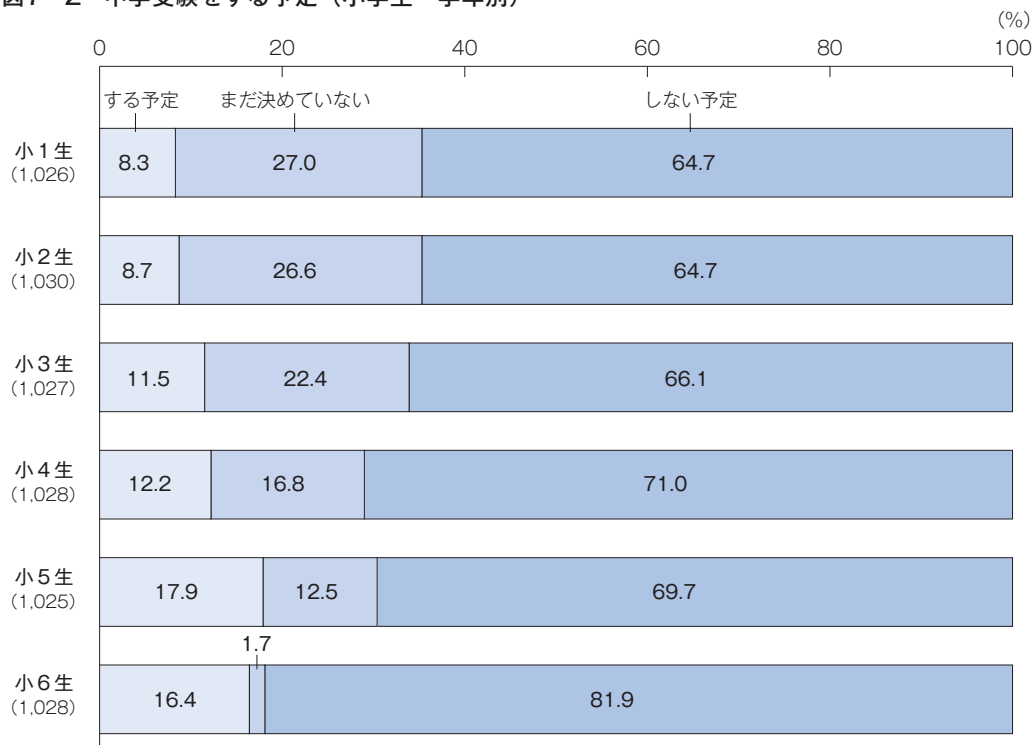
(ベネッセ教育研究開発センター「中学校選択に関する調査報告書」2008より)

小学生が中学受験を決めた時期を調べました（図7-1）。全体では小6生になってから決めた子どもが37.4%と一番多く、次が小5生27.3%、小4生16.2%と続きます。小5生、小6生を合わせると64.7%と6割を超えています。

第一志望校別にみても、私立中学校、公立中高一貫校でようすがかなり異なります。私立中学校を志望する子どもの中では、小5生のころに一番多い26.9%が受験を決めており、小4生、小6生の24.4%より、2.5ポイント高くなっています。一方、公立中高一貫校を志望する子どもでは、小6生で74.5%が受験を決めており、小学校最終学年で決断しているようすがみえてきます。また、私立中学校志望者の中には、小学校入学前、小1～小2生のころに受験を決めている子どもがそれぞれ7.6%、5.0%いますが、公立中高一貫校志望者の中には、この時期に受験を決めている子どもはいません。

## (2) 中学受験の予定と決断

図7-2 中学受験をする予定（小学生・学年別）



注1 「お子様は、中学受験をする予定ですか」との設問への回答。

注2 ( )内はサンプル数。

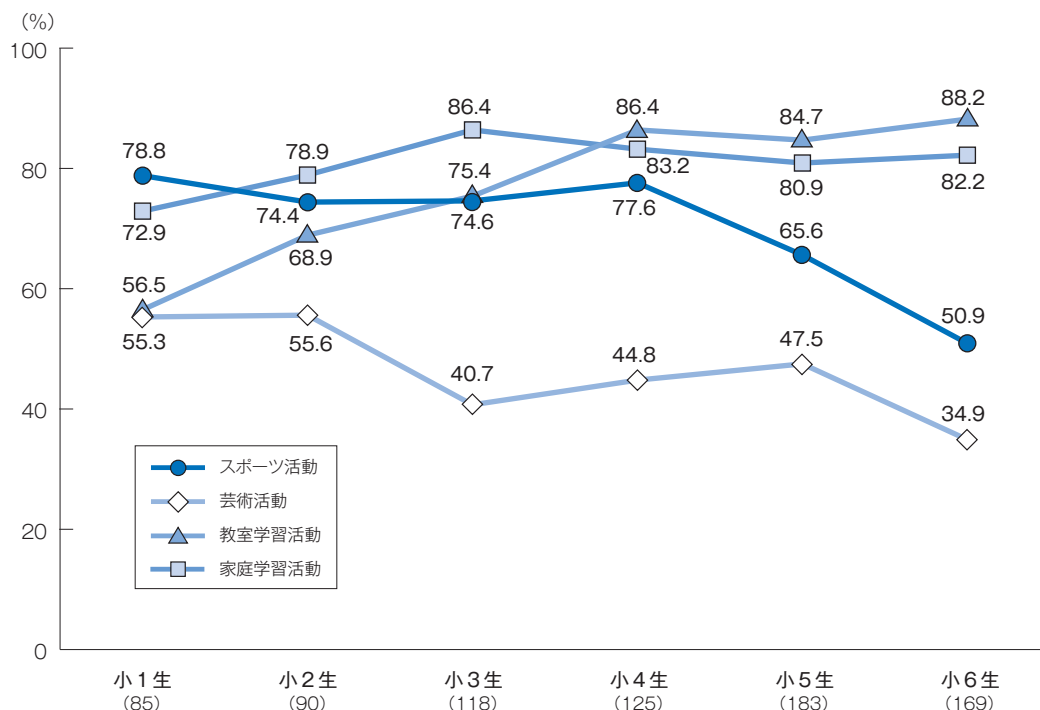
子どもは中学受験をする予定かどうかをたずねました（図7-2）。「まだ決めていない」は、小1生から徐々に減り、逆に小5生にかけて「する予定」「しない予定」が増えていきます。

小1生では「まだ決めていない」が27.0%、「する予定」が8.3%ですが、小5生では「まだ決めていない」が12.5%、「する予定」が17.9%と逆転します。そして小6生では、「しない予定」が81.9%、「する予定」が16.4%で、「まだ決めていない」は1.7%と、ほとんどの家庭が進路を決定しています。

図7-2では小1生、小2生ともに1割弱が受験を「する予定」と答えており、図7-1とあわせてみると、小学校低学年で受験を決めているのは、私立中学校を第一志望校として考えている層とも推測されます。

### (3) 受験予定者 — 低学年は多様で活発、高学年は学習中心にシフト —

図7-3 受験予定者の学校外教育活動率（小学生・学年別）



注1 スポーツ活動の活動率は、「この1年間で、お子様が定期的に行っていた運動やスポーツはありますか」という設問に対して、「その他のスポーツ」を含む26の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

注2 芸術活動の活動率は、「この1年間で、お子様が定期的に行っていた音楽活動や芸術活動はありますか」という設問に対して、「その他の音楽・芸術活動」を含む14の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

注3 教室学習活動の活動率は、「この1年間で、お子様が定期的に通っている塾・教室はありますか」という設問に対して、「その他の塾・教室」を含む15の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

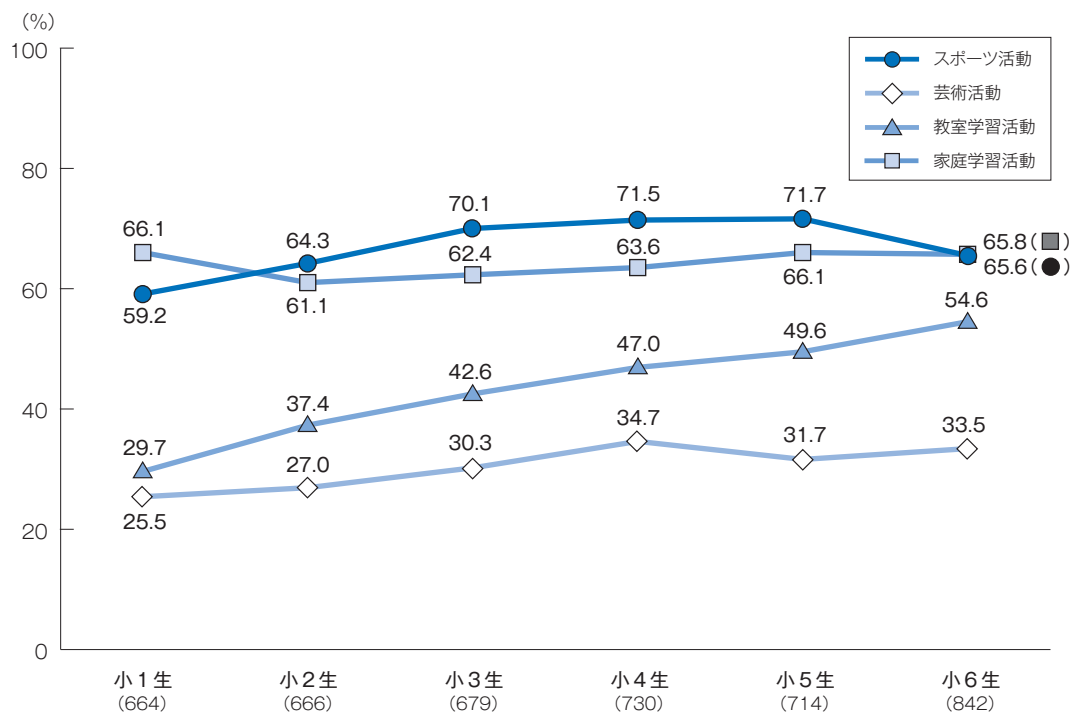
注4 家庭学習活動の活動率は、「この1年間で、お子様が家庭で行っている学習方法や使っている教材はありますか」という設問に対して、「その他の学習方法・教材」を含む10の選択肢のうち、いずれかを選択した%。

注5 ( )内はサンプル数。

受験予定者と非受験予定者で、学校外教育活動の活動率に違いがあるのでしょうか。受験予定者のスポーツ活動は、小1生で78.8%、その後小4生まで7割台ですが、小5生65.6%、小6生50.9%と、5割台まで下がります（図7-3）。芸術活動も、小1生は55.3%ですが、小6生では34.9%と活動率は下がります。逆に、教室学習活動は小1生が56.5%ですが、小4生から8割台となり、小6生では88.2%と、約9割が塾や教室に通っていることがわかりました。家庭学習は、小3生の86.4%をピークに、徐々に減りますが、それでも小6生では82.2%と8割を超えています。受験予定者の学校外教育活動は、高学年でスポーツや芸術活動から学習活動へシフトしていくようです。

一方、非受験予定者は、スポーツ活動は小1生の59.2%から学年が上がるにつれて徐々に活動率

図7-4 非受験予定者の学校外教育活動率（小学生・学年別）



注1 活動率の算出方法は図7-3と同じ。

注2 ( )内はサンプル数。

が高くなり、小5生では71.7%と、受験予定者の小5生より6.1ポイント高くなっています（図7-4）。芸術活動も小1生は25.5%ですが、小6生では33.5%と学年が上がるにつれて徐々に高くなっており、受験予定者のグラフとかなり形状が異なります。教室学習活動は、小1生の29.7%から学年を追うごとに上昇し、小6生では54.6%です。家庭学習活動は、小1生の66.1%が最も高くなっていますが、小6生まで6割台で推移し、大きな差はありません。

以上から、受験予定者は高学年からスポーツ、芸術活動の活動率が下がり、受験予定者、非受験予定者ともに教室学習活動の活動率が、学年が上がるにつれて高くなることが特徴としてあらわれていることがわかりました。

## (4) 受験に影響される子どもの活動

表7-1 中学受験予定者の学校外教育活動パターン（小学生・学年別）

| 活動パターン     | 家庭学習 | 教室学習 | スポーツ活動 | 芸術活動 | 全体   | 小1生<br>(85) | 小2生<br>(90) | 小3生<br>(118) | 小4生<br>(125) | 小5生<br>(183) | 小6生<br>(169) |
|------------|------|------|--------|------|------|-------------|-------------|--------------|--------------|--------------|--------------|
| 全活動あり      | ○    | ○    | ○      | ○    | 20.9 | 24.7        | 24.4        | 22.9         | 25.6         | 21.3         | 11.8         |
| 家庭＋教室＋スポーツ | ○    | ○    | ○      | ×    | 25.1 | 15.3        | 22.2        | 27.1         | 32.8         | 25.7         | 23.7         |
| 家庭＋教室＋芸術   | ○    | ○    | ×      | ○    | 9.5  | 3.5         | 5.6         | 9.3          | 7.2          | 12.0         | 13.6         |
| 家庭＋教室      | ○    | ○    | ×      | ×    | 10.8 | 2.4         | 2.2         | 6.8          | 7.2          | 10.9         | 24.9         |
| 家庭＋スポーツ＋芸術 | ○    | ×    | ○      | ○    | 4.2  | 11.8        | 7.8         | 2.5          | 3.2          | 2.7          | 1.8          |
| 家庭＋スポーツ    | ○    | ×    | ○      | ×    | 5.8  | 8.2         | 10.0        | 11.9         | 4.0          | 3.3          | 2.4          |
| 家庭＋芸術      | ○    | ×    | ×      | ○    | 3.0  | 3.5         | 6.7         | 3.4          | 1.6          | 2.7          | 1.8          |
| 家庭学習のみ     | ○    | ×    | ×      | ×    | 2.1  | 3.5         | 0.0         | 2.5          | 1.6          | 2.2          | 2.4          |
| 教室＋スポーツ＋芸術 | ×    | ○    | ○      | ○    | 3.1  | 1.2         | 4.4         | 1.7          | 1.6          | 4.4          | 4.1          |
| 教室＋スポーツ    | ×    | ○    | ○      | ×    | 5.5  | 7.1         | 3.3         | 5.9          | 7.2          | 5.5          | 4.1          |
| 教室＋芸術      | ×    | ○    | ×      | ○    | 2.1  | 1.2         | 4.4         | 0.0          | 4.8          | 1.6          | 1.2          |
| 教室学習のみ     | ×    | ○    | ×      | ×    | 2.5  | 1.2         | 2.2         | 1.7          | 0.0          | 3.3          | 4.7          |
| スポーツ＋芸術    | ×    | ×    | ○      | ○    | 1.6  | 5.9         | 1.1         | 0.8          | 0.8          | 1.6          | 0.6          |
| スポーツのみ     | ×    | ×    | ○      | ×    | 2.1  | 4.7         | 1.1         | 1.7          | 2.4          | 1.1          | 2.4          |
| 芸術のみ       | ×    | ×    | ×      | ○    | 0.8  | 3.5         | 1.1         | 0.0          | 0.0          | 1.1          | 0.0          |
| 活動なし       | ×    | ×    | ×      | ×    | 1.2  | 2.4         | 3.3         | 1.7          | 0.0          | 0.5          | 0.6          |

注1 「お子様は中学受験をする予定ですか」との設問に対し、「する予定」と回答した人のみ。

注2 家庭学習は、「この1年間で、お様が家庭でしている学習方法や使っている教材はありますか」という設問に対して、「その他の学習方法・教材」を含む10の選択肢のうち、いずれかを選択した場合を「○」、「何もしていない」を選択した場合を「×」とした。

注3 教室学習は、「この1年間で、お様が定期的に通っていた塾・教室はありますか」という設問に対して、「その他の塾・教室」を含む15の選択肢のうち、いずれかを選択した場合を「○」、「何もしていない」を選択した場合を「×」とした。

注4 スポーツ活動は、「この1年間で、お様が定期的にしてきた運動やスポーツはありますか」という設問に対して、「その他のスポーツ」を含む26の選択肢のうち、いずれかを選択した場合を「○」、「何もしていない」を選択した場合を「×」とした。

注5 芸術活動は、「この1年間で、お様が定期的にしてきた音楽活動や芸術活動はありますか」という設問に対して、「その他の音楽・芸術活動」を含む14の選択肢のうち、いずれかを選択した場合を「○」、「何もしていない」を選択した場合を「×」とした。

注6 ■はその学年で一番高い活動パターン、■は2番目、■は3番目に高い活動パターンを示す。

注7 ( )内はサンプル数。

中学受験予定者の学校外教育活動のようすを活動パターン別に調べました(表7-1)。全体では「家庭＋教室＋スポーツ」が25.1%ともっとも高く、約4分の1がこのパターンであることがわかります。低学年では「全活動あり」がもっとも高く、小1生24.7%、小2生24.4%となっています。小3～小5生では「家庭＋教室＋スポーツ」がもっとも高く、とくに小4生は32.8%と、3割を超えています。小6生では「家庭＋教室」が多くなり、ここでも学年が上がるにつれて、さまざまな活動から、学習活動へシフトしているようすがみえてきます。

図7-5 中学受験予定者の1か月あたりの学校外教育活動費（小学生・活動パターン別）



注1 「お子様は中学受験をする予定ですか」との設問に対し、「する予定」と回答した人のみ。

注2 活動パターンの分類については表7-1と同様。

注3 家庭学習活動の費用、教室学習活動の費用、スポーツ活動の費用、芸術活動の費用は、各活動にかかる費用を活動分野別に合計した。活動を行っていない場合は、0円として平均値を計算している。

注4 ( )内はサンプル数。

各活動パターンの費用をみると、一番高額なのは「家庭+教室+芸術」の57,100円です（図7-5）。活動の種類ごとにみると、教室学習活動が2万～4万円と、ほかの活動に比べて高額になっています。

中学受験予定者は、さまざまな学校外教育活動を小学校低学年のころから活発に行っていますが、高学年になると徐々に学習活動へシフトさせていくようすがみえました。